

つくばみらい民報

2023年10月発行 170号 日本共産党の见解を発表します。

発行：日本共産党つくばみらい市委員会 長渡呂新田 830-21
 市議：古川よし枝 ☎58-8597 小島新田 64-3
 間宮美知子 ☎37-5563 上平柳 68-1

真実をつたえ
暮らしに役立つ
しんぶん「赤旗」

日刊紙・電子版 3,497円/月
日曜版 930円/月
見本紙あります。どうぞ、
声をおかけください。

2023年9月議会

9月1日～9月25日開会

2022年度 つくばみらい市一般会計決算 可決

日本共産党
反対

令和4年度の決算収入は、前年度比4%増の274億円、支出は前年度比4.1%増の262億円で、翌年度へ9億円を繰り越しました。市税は前年度より7億5千万円多く92億円で。特に市民税が32億円と前年より5.6%伸びました。年度末の財政調整基金残高は35億円です。市税を活かした施策が今こそ求められます。

市民センターが開設、市民窓口業務ばかりか、市民活動拠点として、子育て支援親子まるまるサポートなどの実施で賑わいを作り出しています。つくばみらい市は出生率も15歳未満の人口割合も県内2位と高い。周辺開発優先ではなく、学校給食の無料化に取り組むなど、本気の子育て支援が待たれていると決算に反対しました。

来年2月市議選

古川よし枝、大兼政 友介 2名の予定候補で全力

日本共産党は、来年2月4日投票のつくばみらい市議会議員選挙に、間宮美知子議員が勇退し、現職の古川よし枝と新人の大兼政友介の2名を擁立します。引き続き、市民の福祉・暮らしを守り、住みよいまちづくりに力を尽くします。みなさんのご支援をよろしくお願いします。



大兼政 友介



古川 よし枝

1978年 12月生まれ 44歳
大阪府岸和田市に生まれる
2005年 関西保育福祉専門学校 社会福祉科卒業
2017年 jica で障がい児者支援アドバイザーとして南アフリカへ
2020年 つくばみらい市に転居 谷井田に在住 社会福祉法人に障がい者の生活支援員として勤務
好きなこと 読書 映画鑑賞 旅行

1951年 11月生まれ 71歳
茨城県高萩市に生まれる
1971年 茨城キリスト教短期大学卒業
1981年 東京葛飾から旧伊奈村に転居
1995年 伊奈町議初当選し、町議3期を経て市議4期 現在7期目
小島新田に在住 家族 夫
好きなこと 自然観察 家庭菜園 編み物

国保 令和4年度決算可決 保険税 均等割の引き上げに反対

令和4年度の国保税は税率算定の世帯割をなくして、均等割と所得割の2方式に改定しました。改定によって、全世帯が減税に。しかし、均等割が3300円の引き上げとなり、家族数が多い世帯は引き下げ額の幅が小さくなりました。

決算では保険税が前年度より20%減の8億円。でも赤字にならず、5900万円を積み立てて、基金残高は11億7000万円に増えました。均等割を元に戻すには3000万円あればできます。日本共産党は均等割の引き下げを求めて決算に反対しました。

請願 不採択 「インボイス制度実施の延期・中止を求める意見書提出」

中小零細事業者等の消費税免税者はインボイス発行のための課税登録をするもしないも、「地獄の2者択一」。課税事業者も仕入れ消費税を控除できなければ負担が増え、この分を価格に転嫁も。仕入れや下請け事業者がなくなれば事業も困難になります。つまり、インボイス制度は免税者だけ

の問題でなく、増税や経済、みんなの問題です。

ところが、市議会では「やってみなければ問題がわからない」と、10対6の反対多数で不採択にしました。

賛成者は、守谷・小林・中山治 間宮・今川・古川議員でした。

反対署名は
短期間に
1400筆も

取手地方広域下水道組合 来年4月から24.3%の料金値上げ強行

8月の組合議会は、来年4月から下水道料金の値上げ案を可決しました。短期間に取手市も含めて1400筆を超える反対署名が寄せられました。24.3%の値上げは月10㎡使用の場合は500円、20㎡では

700円、30㎡では1000円の値上げになります。(旧伊奈町地域)

物価高騰で「家計もひっ迫している、この時期に値上げはすべきでない」と日本共産党は値上げに反対しました。

2023年 7・8月 日本共産党つくばみらい市民アンケート 結果

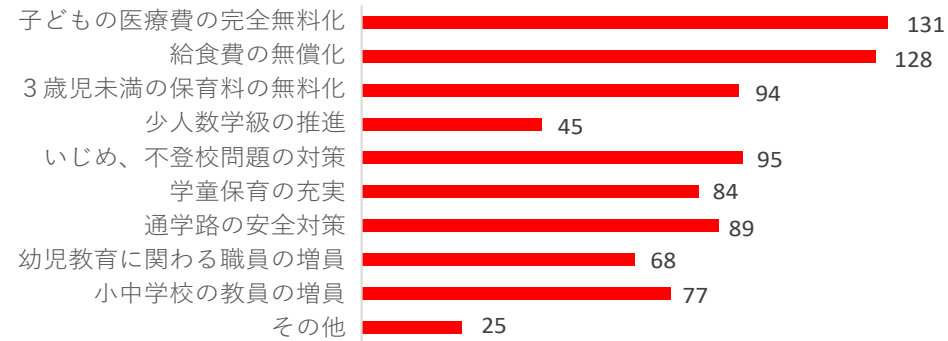
アンケートへのご協力ありがとうございます。243人の方からご意見を寄せていただきました。暮らしの面では「厳しくなった」は86%、「よくなった」はゼロでした。旅行や娯楽費を節約し、貯金を取り崩して暮らしています。

要望は狭い道路の拡幅や側溝に蓋を、T字路にミラーの設置、スピード規制など道路事情や交通に関するものが38件。本屋さん、飲食店、自転車屋さん、ホームセンター、下水道の接続、若者向けの低家賃の住宅、所得に関係なく支援を、障害等級の軽い方への支援なども、生活苦や生活の不便さへの要求が50件ありました。

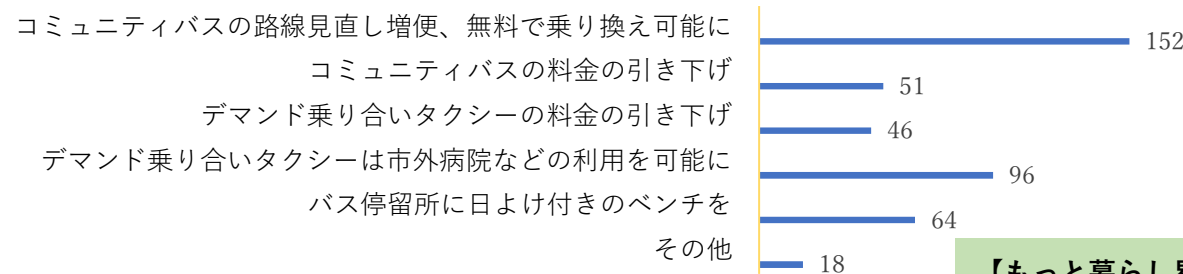
今後の国政・県政・市政の政策に生かし要求実現に取り組んでまいります。

なお、具体的な要望箇所などが確認できたところは改善を図っております。党へのご支援・批判のご意見もたくさんいただきました。ご理解を頂けるよう努力してまいります。

問3 子育て支援、教育について望むことは？ 複数回答数 836



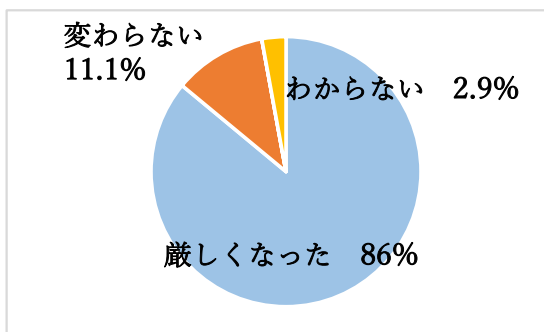
問6 公共交通について望むことは？ 複数回答数 427



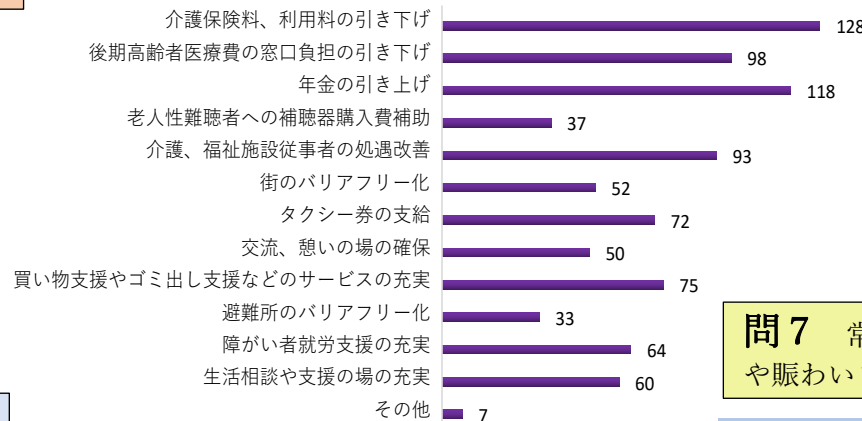
【子育て支援への声】要約

- 子どもと一緒にいれる本屋やレストランがみらい平駅周辺にあったらいい。(20代)
- 街灯が少ない。歩道のポールがとても邪魔です(40代)
- 困っている金銭的な不安は、中高等学校の費用です。その対策なしには子どもは増えません。(40代)
- 子どものランドセルは重い、高額で負担も重いです。(30代)
- 学校の体育館にもエアコンの設置を。
- 一人親だけでなく、5歳ぐらいまでの子どもがいる家庭への公営住宅があってもいいなと思う。
- TX 通学定期を安くしてほしい。

問1 最近の物価高騰で暮らし向きはいかがですか？ 回答者 243人



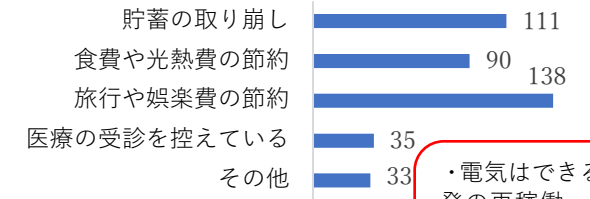
問4 高齢者支援、障がい者支援に望むことは？ 複数回答数 887



【もっと暮らし易く、やさしい街にの声】要約

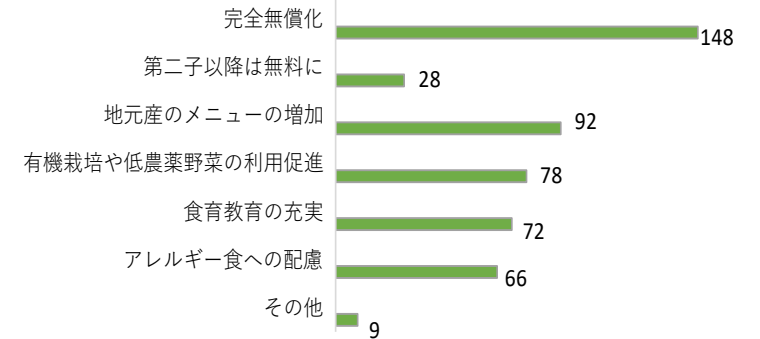
- 公共下水道に接続していないので処理に困っている。(山王新田)
- 高齢者の運転免許証の返納が推奨されているが交通インフラの整備が急務。(80代)
- 降雨時の排水が悪い。(伊奈東、伊奈の里前)
- 入所するほどではないが親を一人で介護している。デイサービス後、勤務のため、夕方から夜まで一人にするのは怖い。ボランティアや介護でほっとする時間も欲しい。(50代)
- コミセンの講座などに参加したいけどいけない。歩いていけるところがあるといいな。

問2 問1で、①とお答えの方に、生活維持のためにどんな工夫をされていますか？ 回答総数 407



・電気はできるだけ節約。原発の再稼働・新原発はやめてほしい。70代
・生活が本当にきつい。貯蓄もむり。40代

問5 学校給食についてどんなことを望みますか？ 複数回答 493



問7 常磐道ICの周辺水田60ha、土地区画整理事業により企業誘致や賑わいゾーンなどの開発についてどう考えますか？ 回答者 238人



- 開発は大いに進めるべき
- インターチェンジの利用状況に応じた規模に
- 自然環境を守ることや財政負担等もかんがみ、規模の縮小をするべき
- 開発の必要はない
- その他

進めるべきは34%、ICの利用状況、財政負担や自然環境を鑑み規模縮小すべきなどの意見が54%あった。必要はないが10%。

問8 日本共産党の政策について	賛成	反対	どちらでもない
憲法9条を変えること	42	92	86
消費税5%に戻すこと	158	21	49
日本政府が核兵器禁止条約に参加すること	160	22	50
気候変動対策や再生エネルギーの利用推進	190	1	31
大学の学費半額に	157	15	52
医療・介護・保育などケア労働者の待遇改善	202	1	24
最低賃金を1500円に	163	10	52
農業生産に力を入れ食料自給率を改善	202	1	26
東海第2原発の再稼働	47	92	87
夫婦別姓の制度導入	115	29	73